



史蹟史料部

2022 年 11 月 7 日

#14

日本人墓地公園

ニュースレター

最初の日本人医師 中野光三の石碑

日本人墓地公園の門を入るとすぐ左手に、[ニュースレター#1](#)でご紹介したひのもと地蔵尊があり、その隣に大きな石碑があります。今回はその中野光三（なかの こうぞう）の石碑をご紹介します。

中野光三は福岡県出身で 1869 年（明治 2 年）に生まれました。1891（明治 24）年、現在の長崎医大の前身である長崎第五高等学校医学部を卒業しました。1893（明治 26）年上海に渡り、翌 1894（明治 27）年渡欧途中でシンガポールに上陸した折、邦人の強い懇願により中野医院（日本神農医院）を開きました。

当時のシンガポールに在住した日本人の多くは、[ニュースレター#4](#)でご紹介した「からゆきさん」たちで、病に倒れると、誰も診療する者はいませんでした。彼は自分と同じ日本人が医療的な惨状の渦中にあることを目の当たりにし、この地で医師として一生を捧げたのです。

以来 30 年にわたり最初の日本人医師として活躍しました。1915（大正 4）年の日本人会発足に際しては 22 人の理事の 1 人となりました。

出典：墓地設置サインボード

参考文献：「シンガポール日本人社会百年史－星月夜の耀－」シンガポール日本人会 2016 年 12 月 23 日発行 335p.（閲覧日 2022 年 9 月 1 日）



ビクトリアロードにあった日本神農医院。
現在のブギス駅の近くです。

「戦前シンガポールの日本人社会 - 写真と記録 改訂版 -」
シンガポール日本人会 史蹟史料部 2004 年改訂版発行より

この高さ 468 cm の見事な石碑は、彼の没後 3 周年に向けて
記念碑設立委員会が作られ、呼びかけに応えた多くの
賛同者から集った 3,000 ドルで建立されました。



中野光三葬儀の様子。

「シンガポール日本人墓地公園 - 写真と記録 改訂版 -」
シンガポール日本人会 史蹟史料部 1993 年改訂版発行より

